

デザインマンホールの寄贈がありました

Vo.1



左から小栗市長、伊藤潤二さん、酒井敏孝さん

中津紙工(株) 代表取締役社長 酒井敏孝さんより、令和7年5月にホラー漫画家 伊藤潤二さん（中津川市坂下出身）が中津川市のために書き下ろしたデザインマンホールを寄贈いただきました。

6絵柄7枚を寄贈いただく予定となっており、このうち「富江と恵那山」「双一と桜の湖」の2絵柄のデザインが完成し、令和7年5月23日に伊藤潤二さんの中津川市観光大使任命式と併せていただきました。

なお、残り4絵柄は伊藤さんにより作画中です。完成した際は皆様にご報告させていただきます。お楽しみにお待ちください。

今回いただいたデザインマンホール



富江と恵那山



双一と桜の湖

デザインを用いたマンホールは実際の下水道マンホールとして使用し、皆さんの目に触れていただけるよう、設置場所の検討を行っています。設置工事が完了しましたら、ぜひ、見に来てください。

残り4絵柄の背景となる観光スポット



苗木城跡



中山道の町並み



馬籠宿



明治座

中津川市上下水道だより

水道料金の増額改定に向け住民説明会を開催しました

中津川市水道事業は、利用者の皆様からの水道料金を財源に、安全で安心な水道水を皆様にお配りしています。能登半島地震などで顕在化したように、老朽化した水道施設の更新や耐震化は喫緊の課題であり、生活に欠かすことができない水道水の安定供給のための財源確保として、水道料金の増額改定（令和8年1月請求分から）を予定しています。それに伴い、中津川市水道事業の現状・課題、増額改定に至った経緯などを市民の皆様に説明させていただきました。

■参加状況

R7.6.10 現在

日にち	会場	参加人数
5/16	苗木公民館	28人
5/20	福岡公民館	15人
5/22	坂下公民館	14人
5/27	アートピア付知	14人
6/2	健康福社会館	20人
6/4	落合公民館	21人
6/9	坂本公民館	12人
6/10	中津川文化会館	35人

説明会資料はこちらから
ご覧いただけます。



■いただいたご質問等

Q 増額した水道料金の使い道は？

→ A 水道施設の更新や耐震化を進めます。

水道管を年7Km更新と耐震化、設備を計画的に更新、配水池の耐震化など

Q 料金値上げ改定以外の検討は？

→ A 水道施設の更新の際には、借金（企業債の借入）を増やし、補助金を積極的に活用しますが、そのうえで30%の値上げが必要となります。

Q 下水道使用料も値上げするの？

→ A 水道料金のみでの改定となります。



皆様から、たくさんのご意見ご質問をいただきました。ありがとうございました。
いただいたご意見等は、後日ホームページに掲載させていただきます。

令和7年度当初予算の概要について

予算の詳細は、中津川市ホームページに掲載しています。



上下水道事業は、地方公営企業法に基づき、独立採算制で運営しており、施設の維持管理等を水道料金や下水道使用料により賄い、安定した水道水の供給、適切な汚水処理を目指しています。安定した運営をするための管路の耐震化・施設の長寿命化事業や、リニア開業に向けての施設整備などに多額の投資が必要になりますが、国などの補助事業の活用や、計画的な借入（借金）を行いながら、安全・安心で持続可能な上下水道事業の運営に努めて参ります。

水道事業

今般の社会情勢における本市の物価高騰対策の一つである水道料金改定の見送りに伴い不足する財源補てんとして、3億7,500万円の補助金（市からの繰入金）を計上しました。今年度は3年度目となります。また、施設更新計画に基づいた管路耐震化更新事業、及び配水池等施設更新を進めるとともに、漏水対策により有収率の向上を目指します。

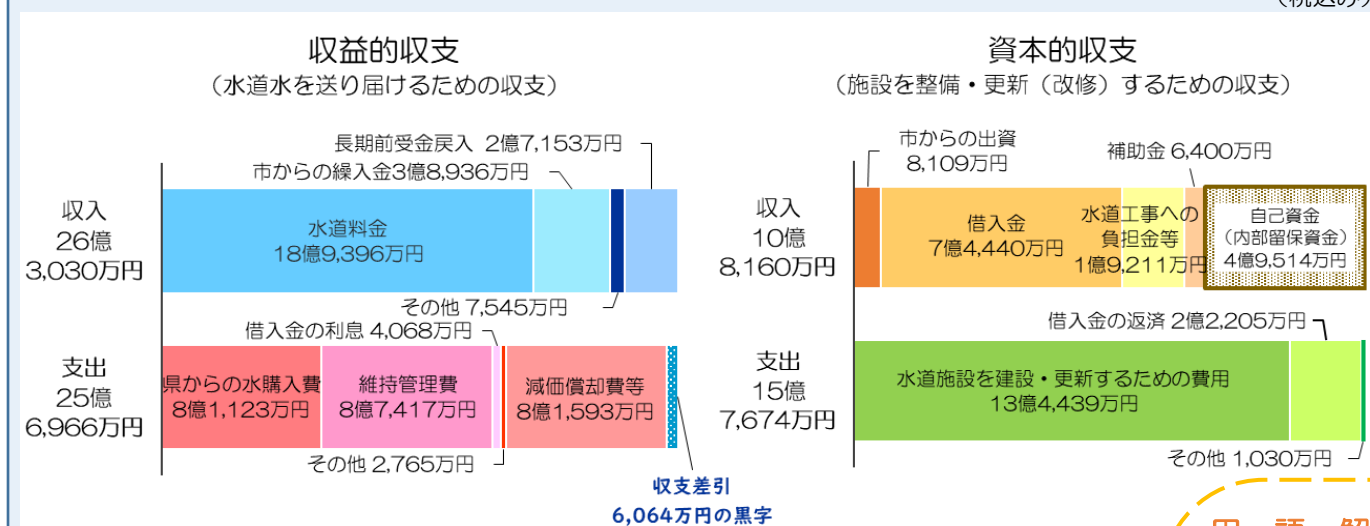
令和7年度に実施する主な事業

- 中津川駅周辺管路更新事業（第2期）
中津川駅周辺市街地における老朽管更新工事（R7～9年度）を実施します。
- 坂本公民館配水管耐震化事業
中津川市の指定避難所の一つである坂本公民館への配水管を耐震化し、緊急時の給水拠点を確保します。
- AI劣化診断及び漏水調査業務
漏水危険度の高い箇所の絞り込みに加え、効果的な管路更新計画の組み立てを進めます。
- 配水管耐震化事業
老朽管更新工事及び道路改良等に伴う水道管布設工事では地震に強い部材を使用します。



令和7年度 予算の概要

（税込み）



水道事業については、市の物価高騰対策の一つである水道料金改定の見送りに伴い不足する財源補てん（市からの繰入金）により、令和7年度は収益的収支差引が**黒字**となっています

用語解説

減価償却費
長期間にわたって使用される固定資産の取得費を、その資産が使用できる期間にわたって費用を配分したものです。

長期前受金戻入
固定資産取得のための収入源に補助金などがあった場合は、収益も減価償却と同じ期間で配分します。

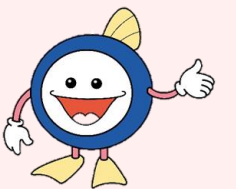
下水道事業

下水道接続を促進するため、国庫補助金を活用し、下水道接続のための宅内排水管工事費や単独処理浄化槽、汲取り槽撤去費の支援を行います。（R6～8年度）

また、必要な施設の整備と廃止を行いながら、ストックマネジメント計画に基づいた改築更新を実施します。

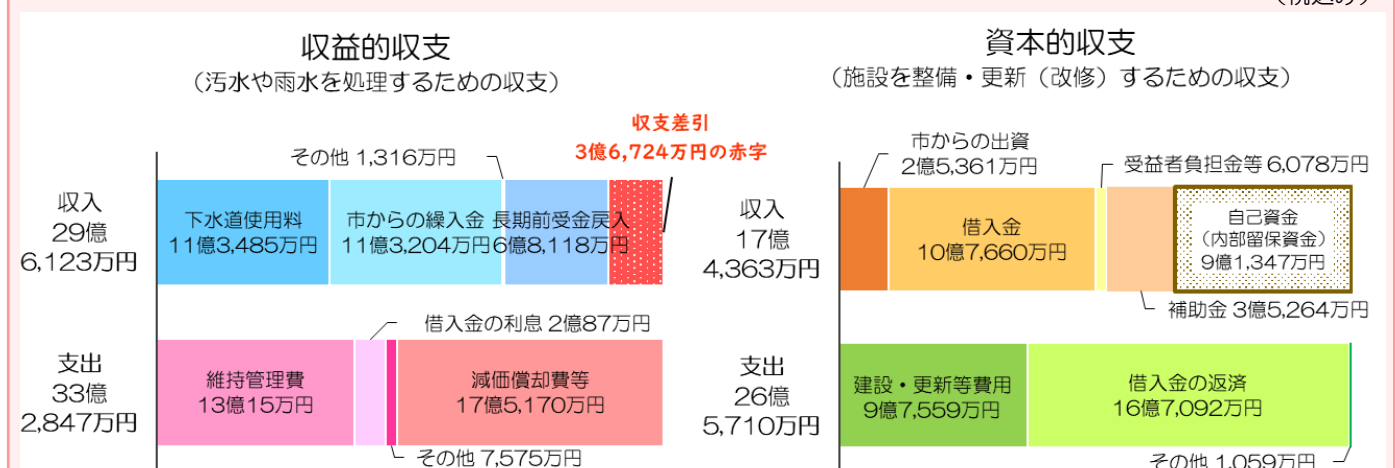
令和7年度に実施する主な事業

- 坂本処理場2系増設事業
坂本地区の接続戸数増加に伴い、坂本処理区の処理水量が増加するため、坂本処理場の2系増設工事に取り組みます。
- 下水道施設長寿命化対策事業
ストックマネジメント計画（改築施設の優先順位をつけ計画的・効率的に管理する計画）に基づき、中津川市浄化管理センター監視装置の更新やマンホールポンプ制御盤の取替等を行います。
- 下水道施設耐震化事業
中津川処理場、坂下処理場の耐震診断を実施し、施設の耐震化をすすめます。
- 処理場改良事業
処理場の照明のLED化工事（脱炭素化推進事業）を行います。



令和7年度 予算の概要

（税込み）



下水道事業については、修繕費の増や物価高騰による薬品費の増により費用が増加しており、令和7年度は収益的収支差引が**赤字**となっています。